

◇飛 澤 龍右工門 君

○議長（後松一成君） 次に、43番、飛澤龍右工門君。

（43番 飛澤龍右工門君 登壇）

○43番（飛澤龍右工門君） 上水道について一般質問いたしますが、前者2名からも質問がありましたが、私からもあえて質問いたします。

私は、12月定例会においても公平性について水道関係の質問をいたしました。今回も関連して質問いたします。年度当初予算で羽貫谷地地区に水道調査費として500万円が計上、そして可決されました。このことは地域にとってまことに喜ばしいことと思います。

さて、町長は3町村が合併になり現在、水不足、または水質の悪い地域は把握しているでしょうか。今後、条件の悪い地域ではどのような対策を考えているでしょうか。今回、羽貫谷地地区に調査費が見込まれたことによって隣の下畑屋地区においても水質の悪いところでは水道を引いていただきたいという声が聞こえてきます。私は、羽貫谷地地区へ水道を引くことによって下畑屋地区へも併用できるのではないかと思うのですが、どうでしょうか。ただし、同時施行することによって羽貫谷地地区の工事着工がおくれるようなことがあってはいかなものかとも考えております。このことについてどのような考えでしょうか。

また、新年度に入って2カ月余りしか経過しておりませんが、調査費について今までの結果と今後のスケジュールについてお聞かせ願いたいと思います。なお、調査結果によっては次年度には工事着手の計画が立てられるものかお伺いいたします。よろしく申し上げます。

○議長（後松一成君） 43番に対する答弁を求めます。松田町長。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） それでは、飛澤議員のご質問にお答えいたします。

上水道についてですが、現在、事業推進中の六郷東部地区を除き町内の簡易水道は11地区ありますが、その地域内の水道普及率は84.2%となっております。また、町の全人口から見ますと52.4%となり、全体的にはまだ低い普及率であると認識しております。水道事業の難しいところは同一地域内でも水に困っている世帯と困っていない世帯が混在していることだろうと思います。そのため供用開始している地域においてもなかなか100%にならない結果になっているものと理解しております。いずれ町としては水道の未普及地域の水道をどうするか、全体的な検討が必要と認識しておりますので状況確認や各種調査を実施し、検討を重ねてまいりたいと考えております。

さて、現在、水道に困っている地域についてですが、把握しているのは鉄分、マンガンが多いため、簡易水道の更新要望がある羽貫谷地地区、住民の一部の方から整備要望がある下畑屋地区、水質について組合内部と検討中と伺っております千畑地域の長面小規模水道組合、

それに現在、事業推進中の六郷東根地区です。六郷東根地区以外の地域においては既存の簡易水道に加入できるかどうかも含めてどういった対策がとれるか検討してまいりたいと思います。羽貫谷地地区については隣接地域の水質、水量の調査が必要なため、6月中旬以降に水源調査を委託する予定です。したがって、下畑屋地区との併用については現段階では申し上げることができません。また、事業実施するには認可変更手続が必要で県と協議し、国庫補助事業として採択見通しがつくには1年ぐらいかかると思いますし、財源の手当てなども必要になるため、工事着手時期についてもはっきり申し上げられない状況です。いずれ調査結果が出次第、対応について決めてまいりますので、ご理解いただきたいと思います。

以上をもちまして、答弁を終わります。

○議長（後松一成君） 43番。

○43番（飛澤龍右エ門君） 質問というか、まず私から言うまでもございませんが、先輩議員の方々からはよくこういうことを言われました。水のないところ、悪いところには人は集まらないということ。それから今、六郷地区においても家を建てたい、あるいは店を開きたいという人もおりますけれども、水が悪くて引けないでやることもできないという人もおります。今般、町長招集のあいさつにありましたが、6月20日から行政座談会が開催されるということでございます。いろいろな意見、要望が出るとは思いますが、厳しい財政ではありますが、公平性を持った行政運営をしていただきたいと思います。質問を終わります。どうもありがとうございました。

○議長（後松一成君） 以上をもちまして、43番飛澤龍右エ門君の一般質問を終結いたします。